

「恋人の聖地」

どう広める

貝塚で「サミット」

若い人たちに魅力ある観光地として、静岡市のNPO法人・地域活性化支援センターから「恋人の聖地」の選定を受けた自治体などでつくる「恋人の聖地観光協会」（会長＝藤原龍男・貝塚市長）が22日、同市役所で役員懇談会（サミット）を開いた。恋人の聖地のPRのため、来年度に全国規模の会議を開くといった方針を話し合った。

恋人の聖地は同法人が2006年から選定を始め、現在全国に139カ所ある。府内では貝塚市の水間



「恋人の聖地」の活用策を話し合うメンバーら＝貝塚市役所

寺愛染堂^{あいせん}など5カ所ある。

藤原会長は「地域活性化のため、恋人の聖地の取り組みを全国発信していきたい」とあいさつ。協会顧問でブライダルファクションデザイナーの桂由美さんは取材に「恋人たちがハッピーな気持ちになれる聖地を広め、結婚人口を増やしていきたい」と語った。

（加戸靖史）